

話題のオブジェクトオーディオ※1“Dolby Atmos®※2”や“DTS:X™※3”を理想的に再生
7ch 同時ハイパワー出力の「ダイレクトエナジーHD アンプ」を搭載した AV レシーバーを発売
～HDR 信号や広色域信号などの最新高画質技術にもパススルー対応～



商品名	型番	希望小売価格(税別)	発売予定時期
AV レシーバー	SC-LX502(B)	185,000 円	8 月下旬

オンキヨー&パイオニアマーケティングジャパン株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:荒木 健)は、7ch 同時ハイパワー出力が可能な「ダイレクトエナジーHD アンプ」を搭載し、話題のオブジェクトオーディオ“Dolby Atmos®”や“DTS:X”を理想的に再生するパイオニアブランドの AV レシーバー「SC-LX502(B)」を発売します。本機は、マルチチャンネル再生であってもステレオ再生と同様に、隣り合う 2 つのスピーカー間、そのすべてにおいて等しくステレオフォニックを実現するという当社の“Multi-Channel Stereophonic Philosophy”に基づいて設計されており、7ch のアンプは全て同じ構成で同時ハイパワー出力が可能な「ダイレクトエナジーHD アンプ」を搭載しております。更に高精度な音場補正技術「MCACC」※4 が理想的に各スピーカーの音を調整するので、“Dolby Atmos”、“DTS:X”のリスナーを包み込むような臨場感のあるサラウンド再生を実現します。また、映像輝度のダイナミックレンジを拡大する HDR(ハイダイナミックレンジ)※5 技術の Dolby Vision、HDR10、HLG (Hybrid Log-Gamma)、自然界に存在するほぼ全ての色を再現できる広色域規格の BT.2020※6 など 4K 時代の高画質技術の信号伝送に対応しております。

【主な特長】

1) 7ch 同時ハイパワー出力を実現する「ダイレクトエナジーHD アンプ」搭載

- ・上位モデルにも搭載され、高いスピーカー駆動力と音質に定評のある「ダイレクトエナジーHD アンプ」により、560W(8Ω, 1kHz, 1% THD)の 7ch 同時ハイパワー出力が可能となり、オブジェクトオーディオによる多チャンネル 3 次元音響も余裕の迫力のあるサウンドで楽しめます。
- ・半導体チップを基板に直結する独自構造のパワー素子“Direct Power FET”の採用や、基板自体のレイアウトやパターンングを見直し、信号経路の最適化を図ることで、高音質化と信号のレスポンス性能の向上を実現します。
- ・ルビコン社と共同開発した高品位「PML MU コンデンサー」の採用により透明感と開放感のある音質を実現します。
- ・4Ω～16Ω のスピーカーに対応しており、特別な設定や切り替えをすることなく、さまざまなインピーダンスのスピーカーと接続できます。

2) 話題のオブジェクトオーディオ“Dolby Atmos”と“DTS:X”に対応

- ・位置情報、移動方向・速度、音量などオブジェクト(音)の情報をメタデータとして付加することで、これまでになくリアルな音の動きを再現し理想的な立体音場を実現する話題のオブジェクトオーディオ“Dolby Atmos”と“DTS:X”の再生に対応しており、臨場感豊かなサラウンド空間を実現します。
- ・天井からの反射音を利用するドルビー・アトモス・イネーブルド・スピーカー※7 に対応。独自の反射音距離測定やバスマネジメント機能などにより、天井にスピーカーを設置すること無く自然な音響環境でオブジェクトオーディオを楽しめます。

3) 高品位なサラウンド再生を実現する自動音場補正技術「MCACC」と「Reflex Optimizer」を搭載

- ・付属のマイクにより各スピーカーの“周波数”と“音圧レベル”を測定し、音量レベル、音質、クロスオーバー周波数、視聴位置からの距離を最適に調整することで、高品位なサラウンド再生環境に補正します。
- ・独自開発の「フェイズコントロール」技術により、サブウーファーからの LFE(低域効果音)信号の遅れを解消し、迫力の重低音、クリアな中高域の再生を実現します。躍動感や実体感が際立つサラウンド再生をお楽しみいただけます。
- ・昨年モデルに搭載され定評のある「Reflex Optimizer」がドルビー・アトモス・イネーブルド・スピーカー使用時に発生する天井から反射音として聴こえやすい帯域の音とスピーカーから直接音として聴こえやすい帯域の音とのわずかな時間差(位相ズレ)を補正します。ドルビー・アトモス・イネーブルド・スピーカーを使用した再生環境でも、その他のスピーカーと一体となった最適な音場空間を実現します。

4) 回路設計の細部まで見直しを図り、音質の向上を実現

- ・信号経路の徹底したノイズ低減をするため、主基板に旭化成エレクトロニクス社の 768kHz/32bit DAC(AK4458)を搭載するとともに、信号ロスの少ない低 ESR カスタムコンデンサーなどの高音質パーツを使用することで、音質の向上を実現しています。
- ・内部構造の平行面をなくし空洞共振を原理的に発生させない「定在波制御インシュレーター」により、音の定位や音数・音階をクリアにするとともに、チャンネル間のシームレスなつながりや俊敏な立ち上がりを可能にします。
- ・ファンレス構造を採用した新筐体により、再生環境の静音化を実現します。

5) 4K/60p/4:4:4 映像信号と“HDR”信号の伝送や著作権保護規格“HDCP2.2”に対応

- ・4K/60p/4:4:4 映像信号の伝送^{*8}と著作権保護規格“HDCP2.2”に対応した HDMI®端子を装備しており、4K 映像機器と接続することで、高画質な映像を楽しめます。
- ・最新の“HDR(ハイダイナミックレンジ)”信号の Dolby Vision、HDR10、HLG(Hybrid Log-Gamma)と“BT.2020”の広色域信号の伝送に対応しており、対応の 4K 映像機器と接続することで、より自然に近い生き生きとした高画質映像を楽しめます。
- ・BD プレーヤー“BDP-LX シリーズ”の開発で培った超解像 4K 技術を取り入れ、HD 画質のコンテンツをアップスケーリングすることで 4K 映像信号の画質で楽しめる“Super Resolution”を搭載しています。

6) マルチルーム対応の“Chromecast 搭載”や“DTS Play-Fi[®]”、インターネットラジオ“radiko.jp”などに対応

- ・“Chromecast 搭載”により、お手持ちの Android™スマートフォン、Android タブレット、iPhone、iPad にインストールした Chromecast 対応 App、Chrome™ブラウザや Chromebook™、Mac または Windows® 搭載のノートパソコンから簡単操作でお気に入りの楽曲を本機や対応機器にキャストし、さまざまな音楽を手軽に楽しめます。
- ・“DTS Play-Fi”対応により、iPhone、iPad、Android 端末や Windows、Android PC などにインストールした DTS Play-Fi App や PC 等のドライバーから手軽に端末内や対応サービスの楽曲を本機や対応機器に送信できます。
- ・インターネットラジオ“radiko.jp”や“TuneIn”に対応^{*10}しており、国内はもちろん、世界中のさまざまなジャンルのラジオを手軽にいつでも楽しむことができます。

7) DSD 11.2MHz ネイティブ再生など、多彩なハイレゾ音源の再生に対応

- ・FLAC/WAV/AIFF/Apple lossless ファイル形式(2ch)のハイレゾ音源(192kHz/24bit)に加え、DSD ファイル(11.2MHz まで)の再生^{*11}に対応しています。マルチチャンネルコンテンツの Dolby TrueHD ファイルの再生^{*12}にも対応しており、多様なハイレゾ音源を再生できます。

8) Wi-Fi®・Bluetooth®無線技術の搭載により、快適で高音質なネットワークオーディオ再生を実現

- ・5GHz(11a/n)と 2.4GHz(11b/g/n)に対応した Wi-Fi 接続により、途切れにくい信号伝送を実現。さまざまな音源をワイヤレスで楽しめます^{*13}。また、Bluetooth®無線技術による楽曲のワイヤレス再生が可能で、スマートに音楽を楽しめます^{*14}。

9) 操作性を向上し、初期設定も分かりやすい GUI(グラフィカルユーザーインターフェース)を採用

- ・ネットワーク情報/システム設定/「MCACC」関連メニューを表示するトップページに、各項目へ一目でアクセスできる GUI デザインを採用。各機能のメニュー画面も分かりやすいグラフィック表示により、操作性を向上するとともに、“セットアップガイド”により、ネットワーク設定や本記の初期設定を簡単に行えます。

10) その他の特長

- ・AirPlay に対応。
- ・コントロール App「Pioneer Remote」に対応^{*15}。
- ・ワイド FM/AM チューナー(40 局プリセット)を内蔵。

- ※1 従来のチャンネルベースのサウンドトラックにオブジェクト情報(音の位置や動きなどの情報)を用いた 3 次元サラウンド音響。全ての音がオブジェクトとしてミキシングされるので、スピーカーの設置位置によらず制作者の意図した音の再現が可能。
 - ※2 2012 年 6 月に初めて劇場に導入されたドルビーラボラトリーズが提案するオブジェクトオーディオのホームシアター用プラットフォーム。従来の 5.1ch に 2 つの天井スピーカーを追加した 5.1.2ch が基本構成となる。映画のみならず、ビデオゲームなどにも採用されている。
 - ※3 DTS 社が 2015 年 4 月に発表したオブジェクトオーディオの 1 種。従来のチャンネルベースのサラウンド音声に音の移動情報や位置情報を重ねることで、平面的な音の移動だけではなく垂直方向の音の移動感も加わり、より立体的な臨場感を体験することができます。
 - ※4 MCACC=Multi-Channel Acoustic Calibration System。「MCACC」は録音スタジオにおけるモニタリング手法と同一レベルの音場調整を行うことができる当社独自の音場補正技術です。
 - ※5 HDR とは、映像の最大輝度を拡張する技術。“ULTRA HD Blu-ray™”規格では HDR10 技術を使用して、最大輝度を 100nit から 10,000nit に拡張。
 - ※6 BT.2020 とは、現在の Blu-ray などでは用いられる BT.709 に比べ、2 倍以上の広い色空間をカバーした映像フォーマット規格。
 - ※7 ドルビーラボラトリーズが提案する家庭向け“Dolby Atmos®”用スピーカーの 1 つで、天井へ音を放射することでその反射音を天井からの音声として利用します。
 - ※8 フロント HDMI 端子を除く。
 - ※9 後日ファームウェアのアップデートによる対応となります。準備が整い次第、詳細な日程や内容について、当社 Web サイト (<http://www.jp.onkyo.com/>)でお知らせします。
 - ※10 インターネットラジオを聴くには、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が必要です。「radiko.jp」の対応(聴取可能)エリア、対応放送局については、「radiko.jp」のサイト(<http://radiko.jp/>)をご覧ください。
 - ※11 有線ネットワーク、または USB メモリーからの再生に対応。DSD 11.2MHz はネイティブ再生のみに対応します。
 - ※12 USB メモリーからの再生に対応。
 - ※13 Wi-Fi 規格に対応した無線 LAN のネットワーク環境が整っていること、および Wi-Fi での接続が必要です。
 - ※14 本機で Bluetooth®無線技術搭載機器の音楽を再生するには、Bluetooth®無線技術搭載機器がプロファイル:A2DP に対応している必要があります。すべての Bluetooth®無線技術搭載機器との接続動作を保証するものではありません。
 - ※15 App Store(iPad, iPhone, iPod touch 向け)および Google Play(Android 向け)から無償でダウンロードできます。使用に際しては、Wi-Fi 規格に対応した無線 LAN のネットワーク環境が整っていることが必要です。
- * 「Pioneer」および「Pioneer」ロゴ、「フェイズコントロール」および「フェイズコントロール」マークは、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
 - * 本機は、「フェイズコントロール」技術を採用しています。本技術を適用した製品にはフェイズコントロールマークが付与されます。「フェイズコントロール」技術とは、ソフト制作時や再生時に発生する「低音のズレ」(時間の遅れ、および位相のズレ)を解消する技術です。
 - * Dolby, Dolby Atmos, Dolby Surround, Dolby Vision 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
 - * DTS 特許については、<http://patents.dts.com> をご参照ください。DTS Licensing Limited に基づき製造されています。DTS、シンボル、DTS とシンボルの組み合わせ、DTS:X、DTS:X ロゴ、Play-Fi および Play-Fi ロゴは米国および/または他の国々における DTS 社の商標または登録商標です。
© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
 - * Windows、Windows ロゴは、Microsoft グループ企業の商標です。
 - * AirPlay、iPad、iPod touch、および Mac は米国その他の国で登録された Apple Inc.の商標です。App Store は Apple Inc.のサービスマークです。
 - * iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
 - * Android、Google Play、Chrome、Chromebook、および Chromecast は、Google Inc.の商標または登録商標です。
 - * HDMI®は、HDMI Licensing LLC の商標です。
 - * Bluetooth®ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
 - * Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
 - * “Blu-ray™”、“Blu-ray Disc™”、および“Ultra HD Blu-ray™”はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
 - * その他の会社名、商品名、技術名、トレードマークおよび商号は、各社の商標または登録商標です。

【主な仕様】

■オーディオ特性	
多チャンネル同時駆動出力 (1 kHz、1% THD、8 Ω)	560W(7ch同時駆動時)
定格出力(1kHz、1.0% THD、6 Ω、 2ch 駆動時)	150W/ch (フロント、センター、サラウンド、サラウンドバック/ハイト)
定格出力(1kHz、1.0% THD、4 Ω、 2ch 駆動時)	200W/ch (フロント、センター、サラウンド、サラウンドバック/ハイト)
実用最大出力(1kHz、10% THD、 4 Ω、1ch 駆動時)	300W/ch

■主な入出力端子	
HDMI 端子	7入力(フロント:1、リア:6)/2出力
デジタル入力	同軸 1系統/光 2系統
オーディオ入力	5 系統(PHONO含む)
ビデオ入力	2 系統
コンポーネントビデオ入力	1系統
オーディオ出力	サブウーファー (プリ):1系統 2出力 Zone 2 (プリ/ライン) :1系統
USB入力端子	1系統(Ver.2.0、5V/1A)
LAN端子	1系統(10BASE-T/100BASE-TX)
Bluetooth®無線技術	Ver.4.1 + LE
■その他	
外形寸法	435mm (幅) × 185mm (高さ) × 395mm (奥行)
本体質量	12.1kg
消費電力	250W
待機時消費電力	0.1W (スタンバイ状態)/2.0W (ネットワークスタンバイON時)

※ 詳しい製品情報は以下の製品のホームページをご覧ください。

<http://pioneer-audiovisual.com/components/avamp/sc-lx502/>